

◆総義歯下顎無歯顎難症例にチャレンジするために無歯顎の解剖を学ぼう！

総義歯の義歯床は失われた支持組織（歯と顎骨）を回復するため、その役割は重要です。

また、大きすぎても小さすぎても維持と安定の問題を生じます。

そのため、適切な義歯床の設計に解剖学的根拠は不可欠です。

このコース受講すると、解剖学的な知識の修得と根拠に基づく義歯床の設計ができるようになります。

【講師】

河相 安彦 日本大学教授

（所属学会）日本補綴歯科学会理事・専門医・指導医

日本老年歯科医学会理事・専門医・指導医

日本義歯ケア学会理事長

近藤 信太郎 日本大学教授

（所属学会）日本解剖学会代議員

日本口腔インプラント学会基礎系指導医

【講義】

超高齢化社会の到来で、高度顎堤吸収の下顎無歯顎難症例が増えると考えられます。その症例では、筋圧を上手に使い、義歯との調和をはかることが基本になります

本研修コースはそんな難症例に対峙する基本的な疑問

- 1 義歯の大きさはどうやって決めるの？
- 2 解剖の知識をどうやって生かすの？
- 3 解剖学の根拠に基づく義歯の設計基準がわからない
- 4 難症例に対応するベーシックな知識って何だろう？

などの疑問に答えるよう最新情報について詳細にお伝えします。